

宝木地区・宝木町2の2自治会

「青パトが地域防犯に大きく寄与」

●加入世帯 1121世帯 ●加入率 95.0%

活動内容

宝木町2の2自治会は、宝木地区では、最大の世帯を有する自治会で、近年農家が手放す農地が住宅地化され、ここ毎年数十戸の住宅が新築されている。特に西が岡小学校の周辺の開発が目覚ましく、地域住民の繋がり絆を深めることが大切なことから、地域住民の親睦を図る行事を毎年実施している。

また、新興住宅地が多いことまた、狭隘な道路や草地等も多いことなどから、防犯・交通の安全活動を重視して活動している。

①どんど焼き(1月)

西が岡小校庭において、新年をスタートする「どんど焼き」を行い、新住民を含め大勢の市民が集い賑わいを見せており、新年の伝統行事として定着している。

②宮まつりの参加(毎年8月)

恒例の宮まつりには育成会の子供たちを、大型バスを貸しきって送迎し、夏休みそしてふるさと宇都宮の思い出作りに寄与している。



③青パトの実施(年間)

地域の方の協力を得て、自家用車に青色の回転灯をつけてのいわゆる「青パト」を実施し、防犯に大きく寄与している。これは市内でも早い時期にスタートしたもので、他の防犯団体等の視察もある。

④通学路の整備(24年7月)

西が岡小北側の狭隘な通学路について、隣接する地主の理解と、市の支援を得て通学専用の道路約75メートルを設置して通学児童の安全を図った。これについては当時マスコミも取り上げ、市長からも称賛の声が寄せられた。



⑤通学路の木草切りの実施（6月）

通学路が常に安全な環境にするために通学路の木草切りを随時実施して、見通しの良い通学路保持に努めている。

⑥地区体育行事の上位の成績

地区体育祭や、球技大会での優勝は地区内最高で、特に体育祭をはじめ数種の球技大会では連覇で果たすなど、地域の連帯感醸成に貢献している。

⑦高齢者の見守り活動

自治会、民生委員、福祉協力員が連携し、一人暮らしの高齢者や老々世帯、災害時要援護者の見守り支援活動を行っている。

高い加入率を維持する秘訣

①当自治会は、近年開発が進み新住民の入居が後を絶たない状況にある。

②地域の住民が気楽に参加できる祭礼的行事を開催し、自治会に加入する雰囲気作りをしている。

③住宅新築者、転入者等については、班長からの吸い上げ情報を待って、自治会長をはじめ、執行部役員が個々に訪問面接し自治会の活動内容を説明して加入促進を図っている。

